

「利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画」 変更事業の概要

国土審議会 水資源開発分科会

平成26年7月11日

- 目 次 -

①新規改築事業の位置図及び水源	p 1	
②群馬用水緊急改築事業	p 2	－ p 5
③利根導水路大規模地震対策事業	p 6	－ p 12
④房総導水路施設緊急改築事業	p13	－ p 17
⑤ハツ場ダム建設事業	p18	－ p 20
⑥北総中央用水土地改良事業	p21	－ p 24

①-1 新規改築事業の位置図及び水源

○新規改築事業の取水施設が取水する水は、矢木沢ダム、奈良俣ダム、草木ダム、下久保ダム、滝沢ダム、浦山ダム等を水源としている。

群馬用水緊急改築事業箇所

■取水施設

- ・農業用水 約13m³/s
 - ・水道用水 約4m³/s
- 水源：

〔 矢木沢ダム、奈良俣ダム 〕

利根導水路大規模地震対策事業箇所

■利根大堰

- ・農業用水 約72 m³/s
 - ・水道用水 約32 m³/s
 - ・工業用水 約2 m³/s
 - ・浄化用水 30 m³/s限度
- 水源：

〔 矢木沢ダム、奈良俣ダム、草木ダム、下久保ダム 〕

■秋ヶ瀬取水堰

- ・水道用水 約32 m³/s
 - ・工業用水 約1 m³/s
 - ・浄化用水 30 m³/s限度
- 水源：

〔 矢木沢ダム、奈良俣ダム、草木ダム、下久保ダム、滝沢ダム、浦山ダム、有間ダム 〕

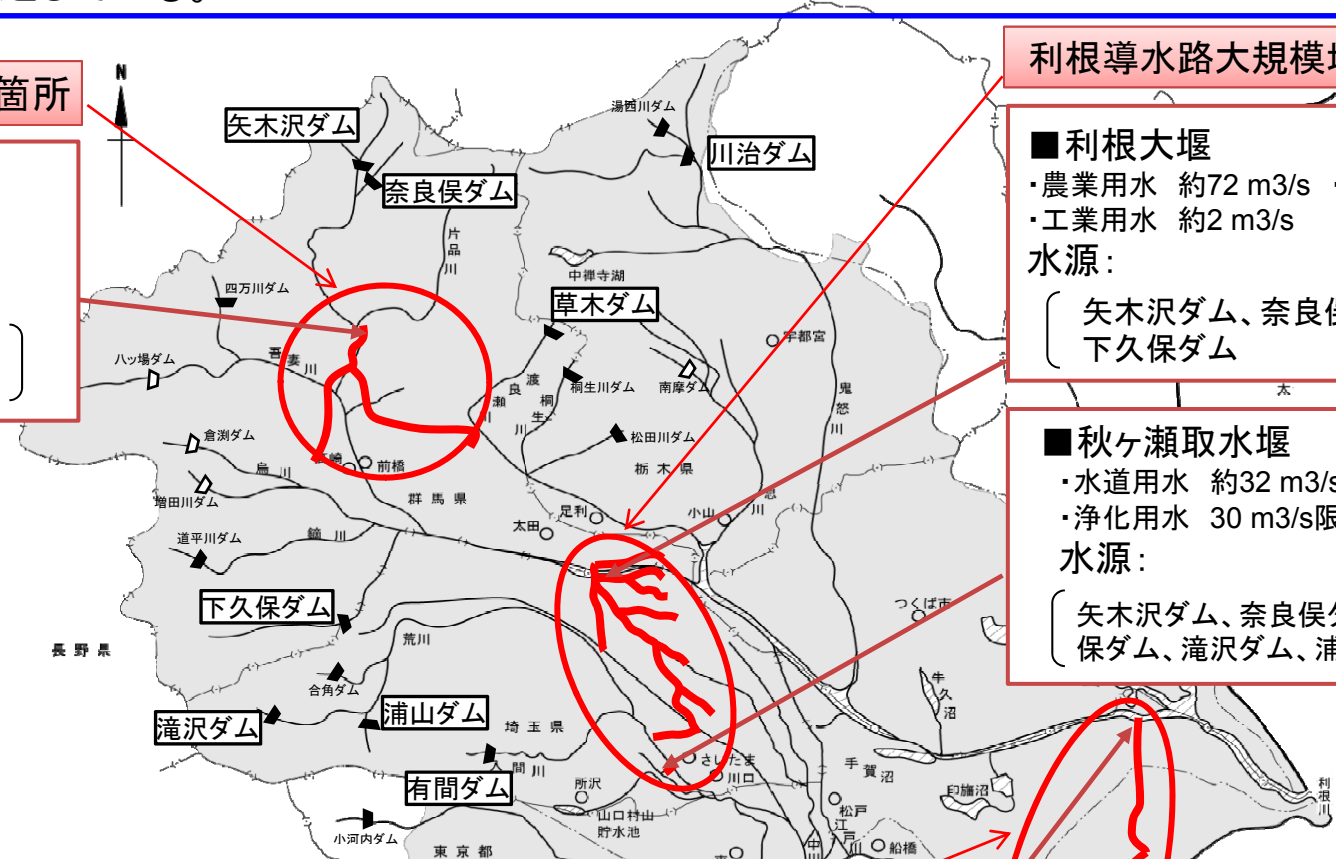
房総導水路施設緊急改築事業箇所

■利根川取水工

- ・水道用水 約5m³/s
 - ・工業用水 約4m³/s
- ※最大取水量約17m³/sを運用して供給
- 水源：

〔 奈良俣ダム、川治ダム、霞ヶ浦開発、長柄ダム、東金ダム 〕

凡	例
ダム	▶ (完了) ◀ (建設中)
流域界	-----
県境	-----<----->-----
河川	—————
水域	//////
フルプラン地域	■



※水源については完成ダム(霞ヶ浦開発事業を含む)を記載を記載。
 ※取水量等については施設管理規程を基に記載。

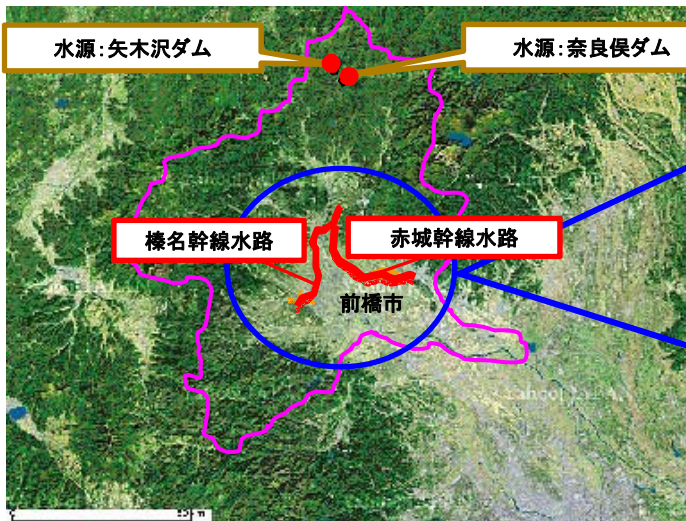
②-1 群馬用水緊急改築事業 — 群馬用水の概要 —

○群馬用水の目的

群馬用水は、矢木沢ダム及び奈良俣ダム等を水源として、農業用水と水道用水を供給する施設である。取水は沼田市岩本地点の利根川右岸から行い、赤榛分水工で赤城幹線・榛名幹線に分水し、分水口、揚水機場等を経由して用水の供給を行う。

農業用水は、赤城山南麓や榛名山東麓の農業地帯のうち、前橋市など7市町村の農地約6,200haの畑地かんがい、田畑輪換、既成田の用水補給のため、最大毎秒約12立方メートルの用水を供給する。

水道用水は、県央地域の前橋市、高崎市、渋川市など8市町村に最大毎秒約4立方メートルを供給する。



〔水源ダム〕



矢木沢ダム



奈良俣ダム



綾戸取水口



赤榛分水工



水管橋



開水路



流況安定調整池



揚水機場(農水専用)

施設の諸元

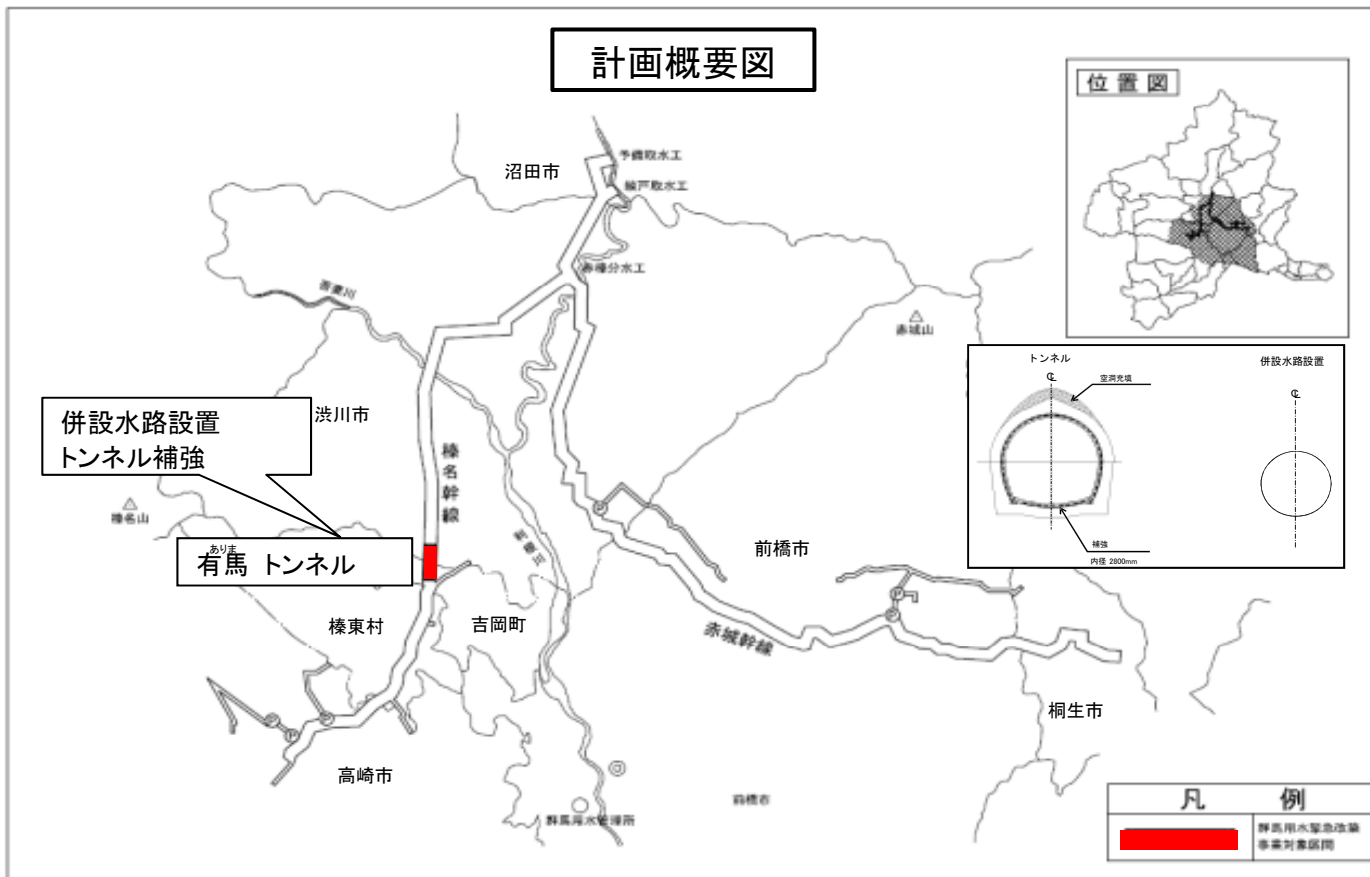
- 取水施設 綾戸取水口
- 導水施設 幹線水路 延長62km
支線水路 延長21km
- 揚水機場 6カ所

事業の経緯

- 昭和39年3月 群馬用水事業 開始
- 昭和45年3月 群馬用水事業 完了
- 平成15年2月 群馬用水施設緊急改築事業 開始
- 平成22年3月 群馬用水施設緊急改築事業 完了

②-2 群馬用水緊急改築事業 — 事業の概要 —

○この事業は、赤城山南麓地域及び榛名山東麓地域の農地のうち、前橋市など7市町村の約6,200haに対して必要な農業用水と、群馬県県央地域の8市町村に水道用水を供給する群馬用水施設のうち、建設後45年が経過し、覆工コンクリートのひび割れ、漏水等による老朽化が著しい有馬トンネルの機能を回復するため、同施設の緊急的な改築を行うものである。



事業の概要

- 事業主体：
独立行政法人水資源機構
- 場 所：
群馬県渋川市外1町
- 予定工期：
平成26年度から平成30年度
- 最大取水量：約17m³/s
- 工事概要：
幹線水路 約2km
(有馬トンネル補強、榛名幹線
併設水路設置)

②-3 群馬用水緊急改築事業 — 事業の概要 —

施設の状態(老朽化)

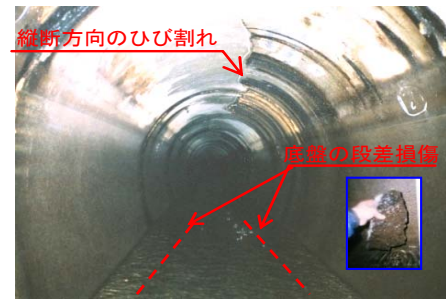
- 群馬用水施設の施設機能診断調査の結果、有馬トンネルは建設後45年経過しており、老朽化によるトンネル覆工コンクリートのアーチ部のひび割れ、漏水、覆工背面の空洞が確認された。

施設の重要性

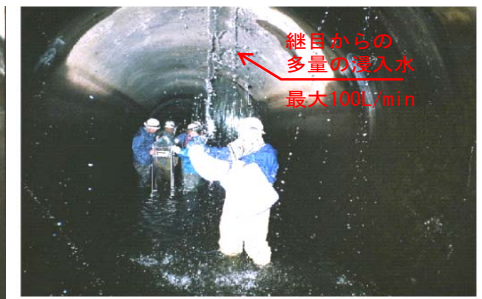
- 群馬用水(有馬トンネル下流)は、群馬県県央第一水道や高崎市水道が取水(約50万人に供給)し、前橋市・高崎市を含む県央地域の産業・生活基盤であるとともに、農業の発展(約2,000ha)を支える重要なライフライン施設である。
- 有馬トンネルが崩落し、通水が不可能となった場合、代替水源が無い場合、長期間にわたる減断水によって、群馬県の県央地域の産業・生活基盤に多大な被害を与えると同時に、その復旧に長期間を要し、農業用水の安定供給に多大な支障が生じる。
- また、施設上部に影響が及ぶと、第三者被害も懸念される。

以上のことから、有馬トンネルの崩落を未然に防止し、群馬県の県央地域の産業・生活基盤並びに農業の発展を支える重要なライフライン機能を確保するため、群馬用水施設の老朽化対策の緊急性は極めて高い。

○有馬トンネルの状況(内部)

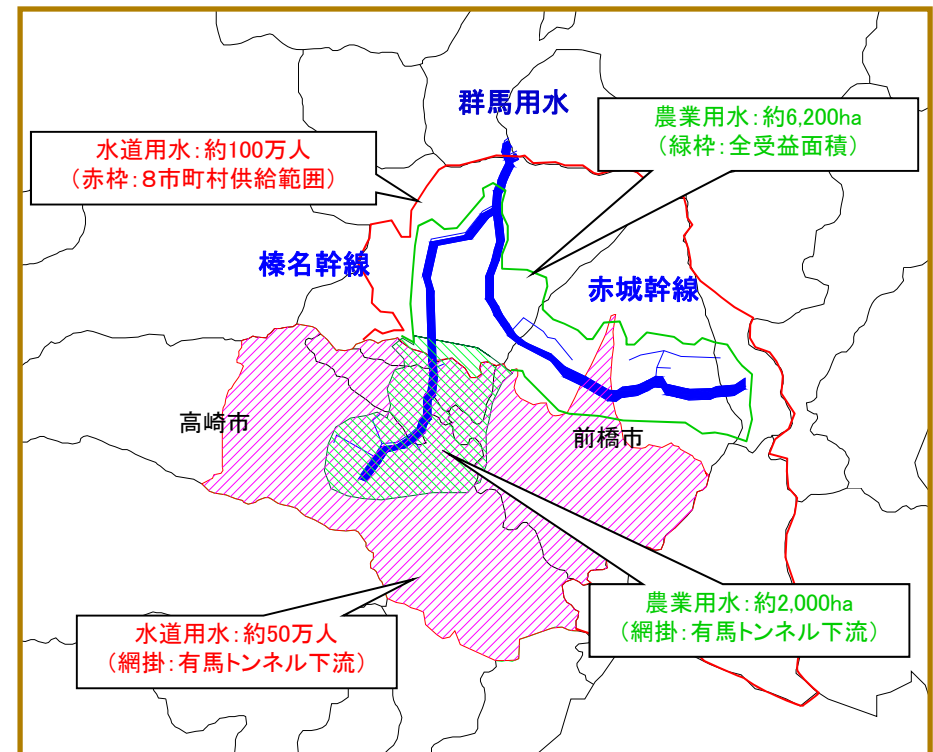


覆工コンクリートのひび割れ



多量の浸入水(地下水)の状況

○群馬用水有馬トンネル下流供給区域



②-4 群馬用水緊急改築事業 — 主要工事 —

老朽化対策

【施設機能診断調査の結果】

- ①ひび割れが顕著な区間：
 - ・トンネル上部に幅2～5mmの縦断ひび割れ（最大段差10mm）
 - ・コンクリート背面に空洞及び地山の緩み 等
- ②漏水が顕著な区間：
 - ・コンクリート継目からの地下水の漏水（最大100L/分）が多数
 - ・コンクリート背面に空洞及び地山の緩み 等
- ③その他の区間（①、②以外の区間）：
 - ・部分的に、規模の小さいひび割れや漏水
 - ・コンクリート背面に空洞及び地山の緩み

群馬用水（有馬トンネル下流）は、群馬県県央第一水道や高崎市水道が取水（約50万人に水道用水を供給）するとともに農業の発展（約2,000haに農業用水を供給）を支えるライフライン施設である。

有馬トンネルが崩落し、通水が不可能となった場合、代替水源が無い場合、長期間にわたる減断水によって、群馬県の県央地域の産業・生活基盤に多大な被害を与えると同時に、その復旧に長期間を要し、農業用水の安定供給に多大な支障が生じる。

【対応】

（トンネル補強）

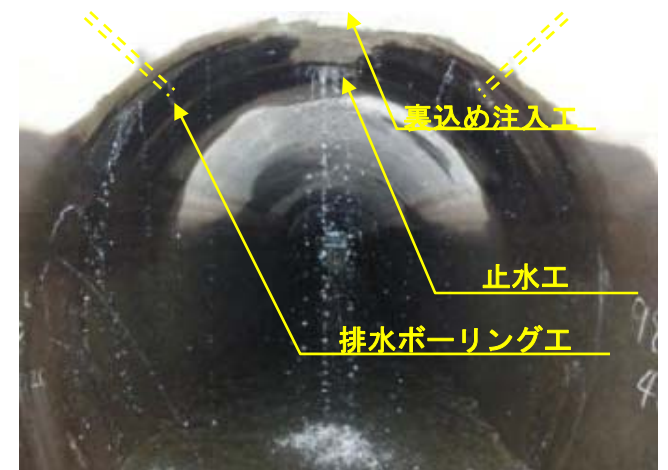
- ①ひび割れが顕著な区間：ひび割れの原因である土圧に対抗するための補強等を行う。
- ②漏水が顕著な区間：背面空洞の充填や、止水工、排水ボーリング工等を行う。
- ③その他の区間：背面空洞の充填を行う。

（併設水路設置）

トンネル補強工事の実施には長時間の作業が必要であるが、長時間の断水が困難であることから、通水を確保するため併設水路を設置する。



ひび割れが顕著な区間



漏水が顕著な区間

③-1 利根導水路大規模地震対策事業 — 利根導水路の概要 —

○利根導水路の目的

利根導水路は、主に利根川上流のダム群により開発した都市用水を武蔵水路及び荒川を經由して埼玉県・東京都に導水するとともに利根川中流部に広がる水田に安定的に農業用水を供給するための施設である。



施設の諸元

- 利根大堰 型式:可動堰 堰長:692m 門扉:12門
- 邑楽用水路 延長:約17km
- 埼玉用水路 延長:約17km
- 葛西用水路 延長:約13km
- 埼玉合口二期施設(基幹線水路,幹線水路等) 約76km
- 末田須賀堰 型式:可動堰 堰長:75m
- 武蔵水路(荒川連絡水路) 延長:約15km
- 秋ヶ瀬取水堰 型式:可動堰 堰長:127m 門扉:4門
- 朝霞水路 延長:約1.7km

事業の経緯

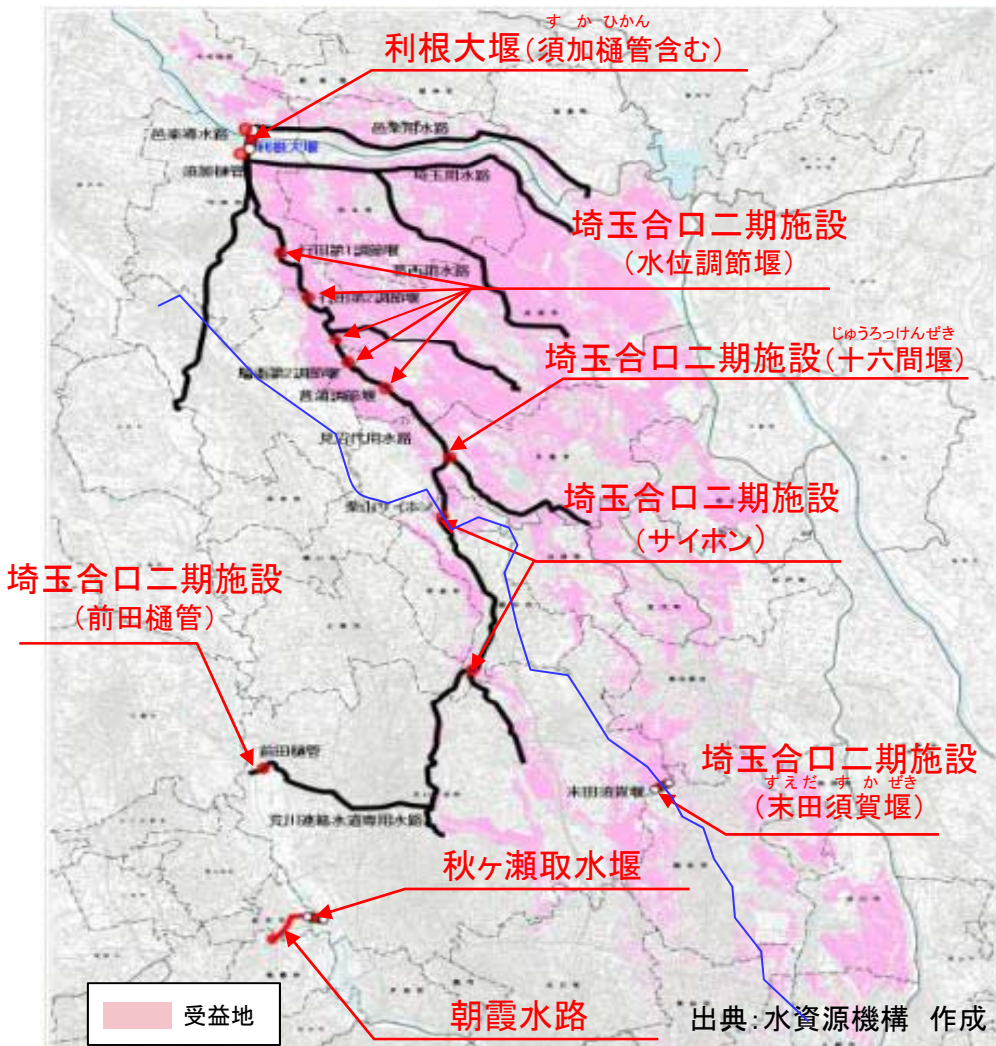
昭和38年11月	利根導水路建設事業	開始
昭和43年3月	利根導水路建設事業	完了
昭和52年1月	朝霞水路改築事業	開始
昭和54年10月	埼玉合口二期事業	開始
昭和58年3月	朝霞水路改築事業	完了
平成7年3月	埼玉合口二期事業	完了
平成7年3月	利根大堰施設緊急改築事業	開始
	利根中央用水事業	開始
平成10年3月	利根大堰施設緊急改築事業	完了
平成14年3月	利根中央用水事業	完了
平成21年8月	武蔵水路改築事業	開始

※ 利根大堰
邑楽・埼玉用水路他
武蔵水路
秋ヶ瀬取水堰
朝霞水路

出典:水資源機構 作成

③-2 利根導水路大規模地震対策事業 —事業の概要—

○この事業は、群馬県南東部及び埼玉県東部の農地に対して必要な農業用水並びに群馬県、埼玉県及び東京都の水道用水及び工業用水の供給等を行う利根導水路について、大規模地震発生時における用水の供給機能の確保を図るため、事前の耐震対策が必要な、利根大堰、埼玉合口二期施設、秋ヶ瀬取水堰及び朝霞水路の緊急的な改築を行うものである。

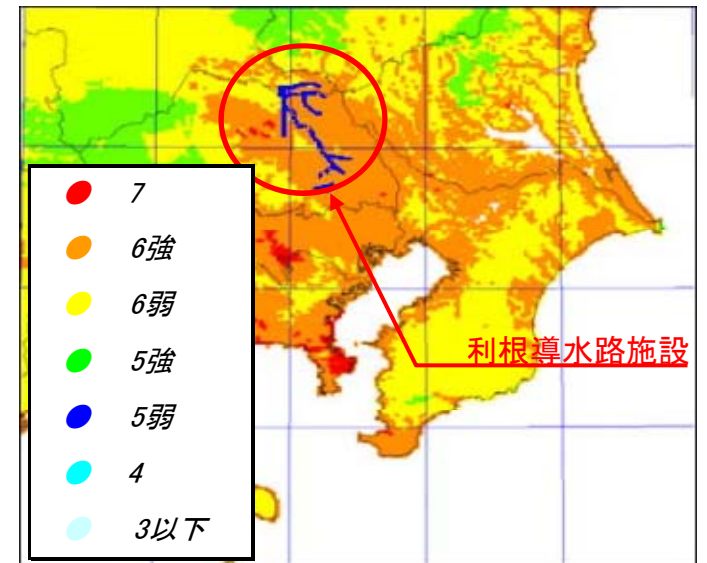


事業の概要	
○事業主体:	独立行政法人 水資源機構
○場 所:	群馬県邑楽郡千代田町及び 埼玉県行田市外9市
○予定工期:	平成26年度から平成33年度
○最大取水量:	約136m ³ /s
○工事概要:	利根大堰 1式 (堰柱、門柱、ゲート設備、須加樋管等耐震補強) 埼玉合口二期施設 1式 (調節堰、サイホン、末田須賀堰等耐震補強) 秋ヶ瀬取水堰 1式 (堰柱、門柱、ゲート設備等耐震補強) 朝霞水路 1式 (耐震補強水路設置、宗岡取水口等耐震補強)

③-3 利根導水路大規模地震対策事業 — 事業の概要 —

施設の状態(耐震性)

- 南関東地域における大規模地震の発生(今後30年以内にM7クラスの大地震が発生する確率は「70%程度」)が危惧されているなか、利根導水路の施設は震度6強の範囲に位置している。
- このような状況を踏まえ、利根導水路の耐震照査を実施したところ、当該事業の対象施設である、利根大堰、埼玉合口二期施設、秋ヶ瀬取水堰、朝霞水路等において、大規模地震による施設の通水断面の阻害や閉塞による用水供給機能が確保できなくなるなどレベル2地震動に対する耐震性能が十分でないことが判明した。

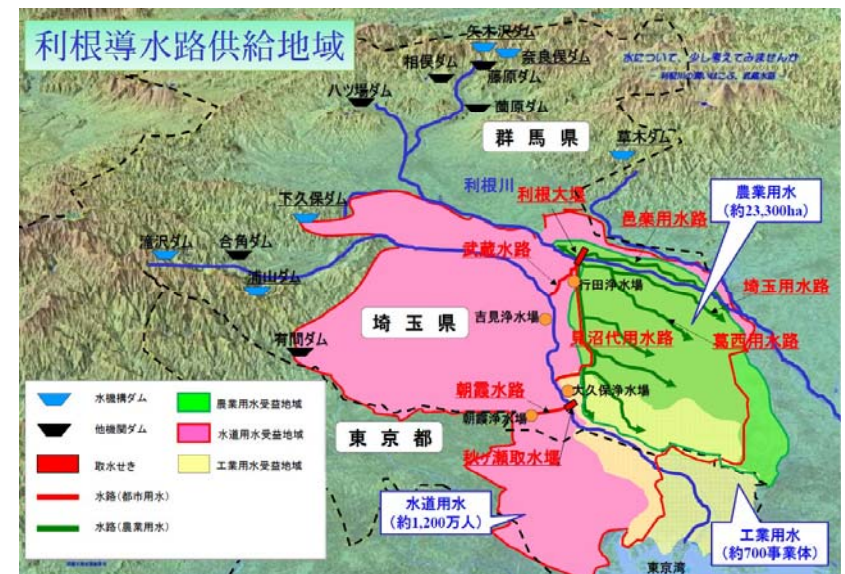


予防対策用震度分布図

出典:中央防災会議首都直下地震対策専門調査会 資料

施設の重要性

- 利根導水路は、首都圏の産業・生活基盤(約1,200万人に水道用水、約700事業体に工業用水を供給)と農業の発展(約23,300haに農業用水を供給)を支える重要なライフライン施設である。
- 利根導水路が被災し、取水・導水が不可能となった場合、長期間にわたる減断水によって首都圏の産業・生活基盤に多大な被害を与えるとともに、その復旧に長期間を要し、農業用水の安定供給に多大な支障が生じる。



利根導水路事業説明資料 出典:水資源機構 作成

大規模地震発生時においても首都圏の産業・生活基盤並びに農業の発展を支える重要なライフライン機能を確保するために、利根導水路の大規模地震対策の緊急性は極めて高い。

③-4 利根導水路大規模地震対策事業 —主要工事（利根大堰）—

耐震対策

【耐震性能照査の結果】

- 堰 柱 : 基部に鉄筋降伏を伴う全面的なひび割れの発生
- 門 柱 : せん断破壊
- ゲート設備 : 主ローラ及び側部戸当り（腹板）での許容値の超過、開閉装置（歯車類及びドラム）の強度不足
- 須加樋管門柱 : 曲げ破壊
躯体 : せん断破壊
- 管 理 設 備 : 制御及び電源等の亡失・遮断

利根大堰は、群馬県、埼玉県及び東京都の都市用水（約34 m³/s）、群馬県及び埼玉県の農業用水（約72 m³/s）並びに浄化用水（30 m³/s限度）を取水する施設であるが耐震性能照査の結果から、被災により、ゲート開閉に支障が生じ、堰上流の水位維持が出来なくなり、取水への影響が危惧される他、河川の正常な流下を阻害し、河川の溢水など二次災害のおそれがある。

【対応】

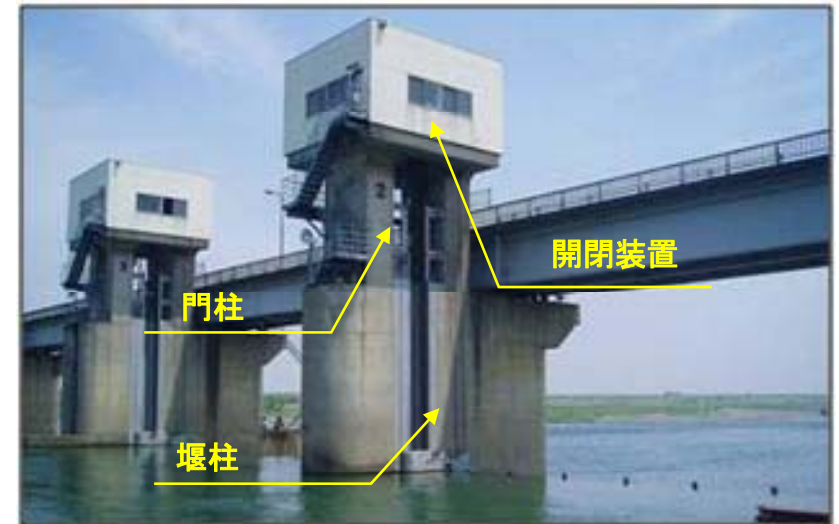
（利根大堰）

堰柱、門柱については、鉄筋コンクリートの増厚や鋼板接着等による強度の向上や、開閉装置の交換など、従前の機能を維持しつつ、施設全体の耐震性能を確保する。

（須加樋管）

門柱や躯体・床版について、鋼板接着や鉄筋の増量等による強度の向上を図り、従前の機能を維持しつつ、施設全体の耐震性能を確保する。

＜耐震対策箇所＞



利根大堰



須加樋管

③-5 利根導水路大規模地震対策事業 —主要工事（埼玉合口二期施設）—

耐震対策

【耐震性能照査の結果】

基幹線水路調節堰	門柱： 曲げ破壊
	床版： 曲げ破壊
サイホン・樋管	躯体： せん断破壊、継手の開き
末田須賀堰	門柱： 曲げ破壊

埼玉合口二期施設は、埼玉県及び東京都の都市用水（約4 m³/s）並びに埼玉の農業用水（約38 m³/s）の供給を行う施設であるが、耐震性能照査の結果から、堰施設の被災により、ゲート開閉に支障が生じ、上流の水位が維持できなくなり、用水の供給機能への影響が危惧されるとともに、サイホン及び樋管の被災では、通水断面が阻害され同じく供給機能への影響が危惧される。

【対応】

（共用施設）

基幹線水路の調節堰、十六間堰及びサイホンについては、鋼板の接着や鉄筋の増量等による強度の向上を図り、従前の機能を維持しつつ、耐震性能を確保する。

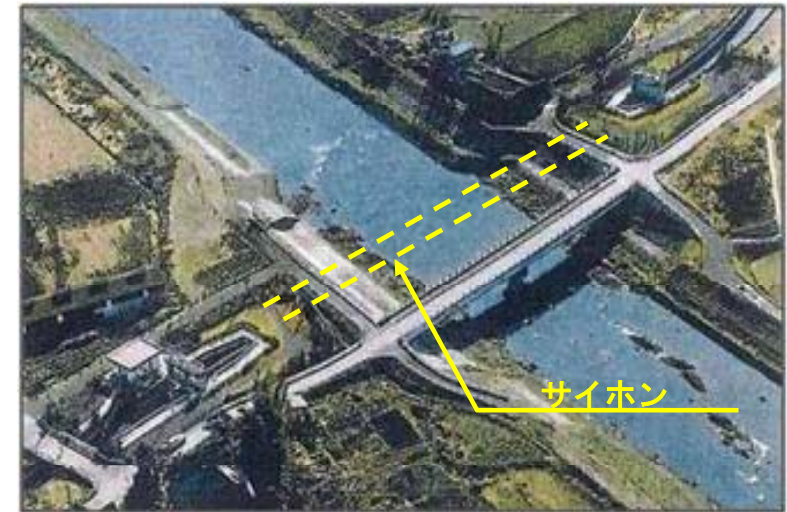
（農業専用施設（末田須賀堰））

門柱及び床版について、鋼板の接着や鉄筋の増量等による強度の向上を図り、従前の機能を維持しつつ、耐震性能を確保する。

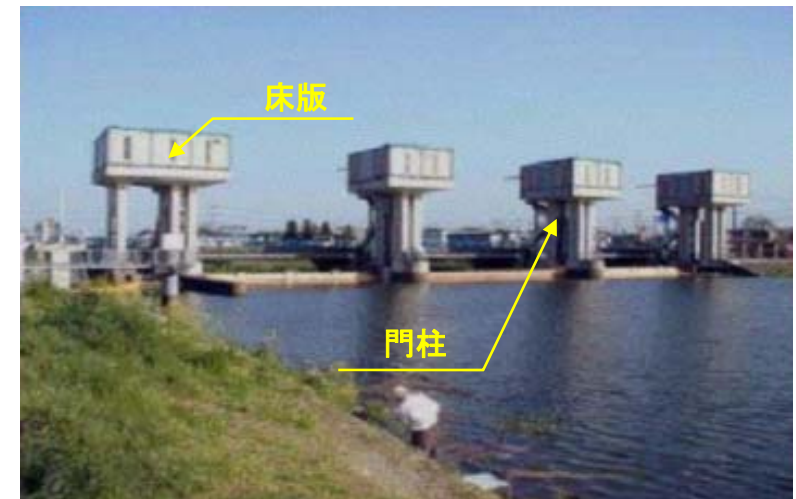
（水道専用施設（前田樋管））

前田樋管については、鉄筋の増量等による強度の向上を図り、従前の機能維持しつつ、耐震性能を確保する。

＜耐震対策箇所＞



しばやま
柴山サイホン



すえだ す か ぜき
末田須賀堰

③-6 利根導水路大規模地震対策事業 —主要工事（秋ヶ瀬取水堰）—

耐震対策

【耐震性能照査の結果】

- 堰柱：基部に鉄筋降伏を伴う全面的なひび割れの発生
- 門柱：一部部材で局部座屈等が発生
- ゲート設備：主ローラ及び主ローラ軸、側部戸当り（レール及び腹板）の許容値の超過、開閉装置（歯車類及びドラム）の強度不足
- 管理設備：堰・取配水施設制御設備の倒壊

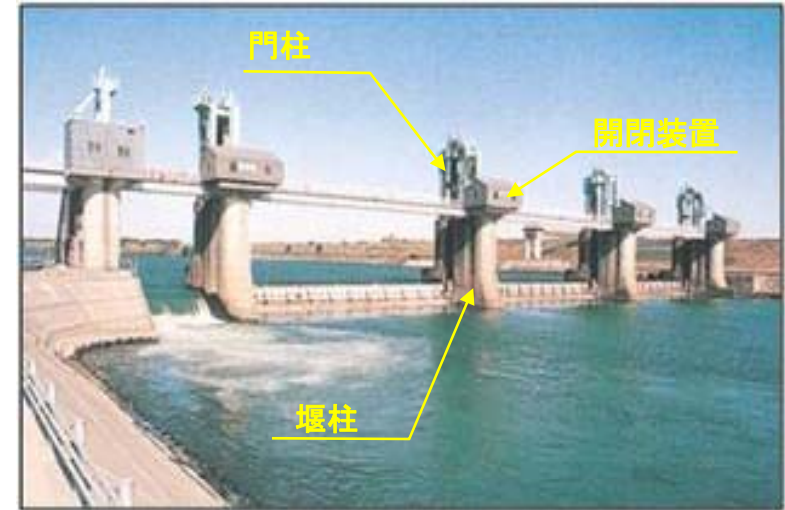
秋ヶ瀬取水堰は、埼玉県及び東京都の都市用水（約33 m³/s）並びに浄化用水（30 m³/s 限度）を取水できるようにする施設であるが、耐震性能照査の結果から、被災により、ゲート開閉に支障が生じ、堰上流の水位維持が出来なくなり、取水への影響が危惧される他、河川の正常な流下を阻害し、河川の溢水など二次災害のおそれがある。

※座屈：部材に圧力が加わった時、加重の大きさがある値を超えると圧縮力が作用する方向と直角方向に突然大きく変形する現象（出典：農業土木標準用語辞典 農業土木学会）

【対応】

堰柱、門柱については、鉄筋コンクリートの増厚やリブ溶接補強等による強度の向上や、開閉装置の交換など、従前の機能を維持しつつ、施設全体の耐震性能を確保する。

＜耐震対策箇所＞



秋ヶ瀬取水堰



秋ヶ瀬取水堰全景

③-7 利根導水路大規模地震対策事業 —主要工事（朝霞水路）—

耐震対策

【耐震性能照査の結果】

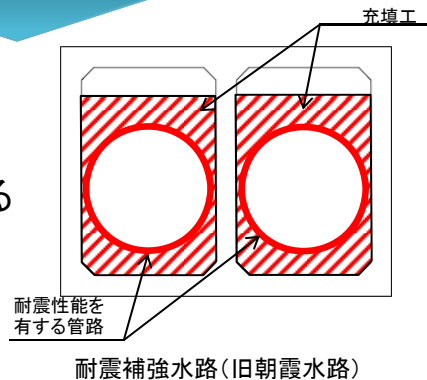
朝霞水路	躯体：せん断破壊
取水口・樋管	門柱：曲げ破壊 躯体：せん断破壊
サイホン	躯体：せん断破壊
管理設備	取配水施設制御設備の倒壊

朝霞水路は、東京都の都市用水（約21 m³/s）と浄化用水（30 m³/s 限度）を供給する施設であるが、耐震照査性能照査の結果から、被災により、通水断面が阻害され供給機能への影響が危惧される。

【対応】

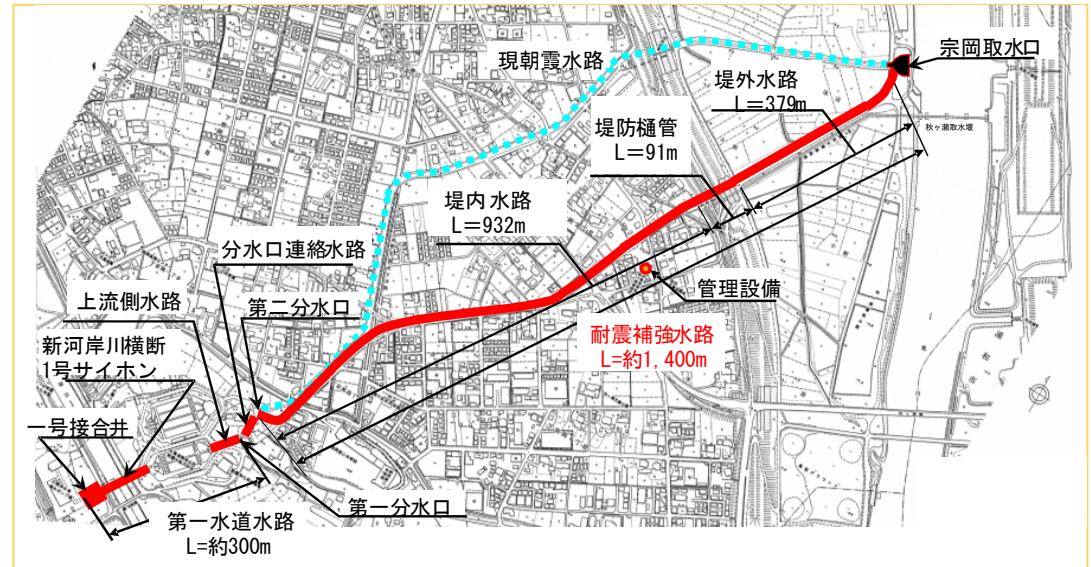
（耐震補強水路）

旧朝霞水路を活用し、内部に耐震性能を有する管路を設置する。



（取水口、樋管、サイホン等）

鋼板の接着や鉄筋の増量等による強度の向上を図るなど、従前の機能を維持しつつ、施設全体の耐震性能を確保する。



朝霞水路耐震補強水路設置ルート



耐震補強水路(旧朝霞水路)ルート(志木市道)

④-1 房総導水路の概要

○房総導水路の目的

房総導水路は、利根川の上流ダム群等での開発水量のうち約7m³/sと、東金ダム及び長柄ダムによる開発水量約2m³/sを水源として、千葉県、千葉市、九十九里地域、南房総地域へ水道用水を約5m³/s、千葉臨海工業地帯及びその周辺地域へ工業用水を約4m³/s供給する。



施設の諸元

●取水施設	利根川取水工		
●導水施設	98km		
●揚水機場	5カ所		
●横芝堰	堰長 103.15m 門扉 4門		
●調整池	1カ所		
●ダム	東金ダム (ときがね湖)	長柄ダム (市津湖)	
	型式 アース	型式 アース	
	堤高 28.3m	堤高 52m	
	堤頂長 248m	堤頂長 250m	
	総貯水量 2,300,000m ³	総貯水量 10,000,000m ³	
	有効貯水量 2,200,000m ³	有効貯水量 9,600,000m ³	

事業の経緯

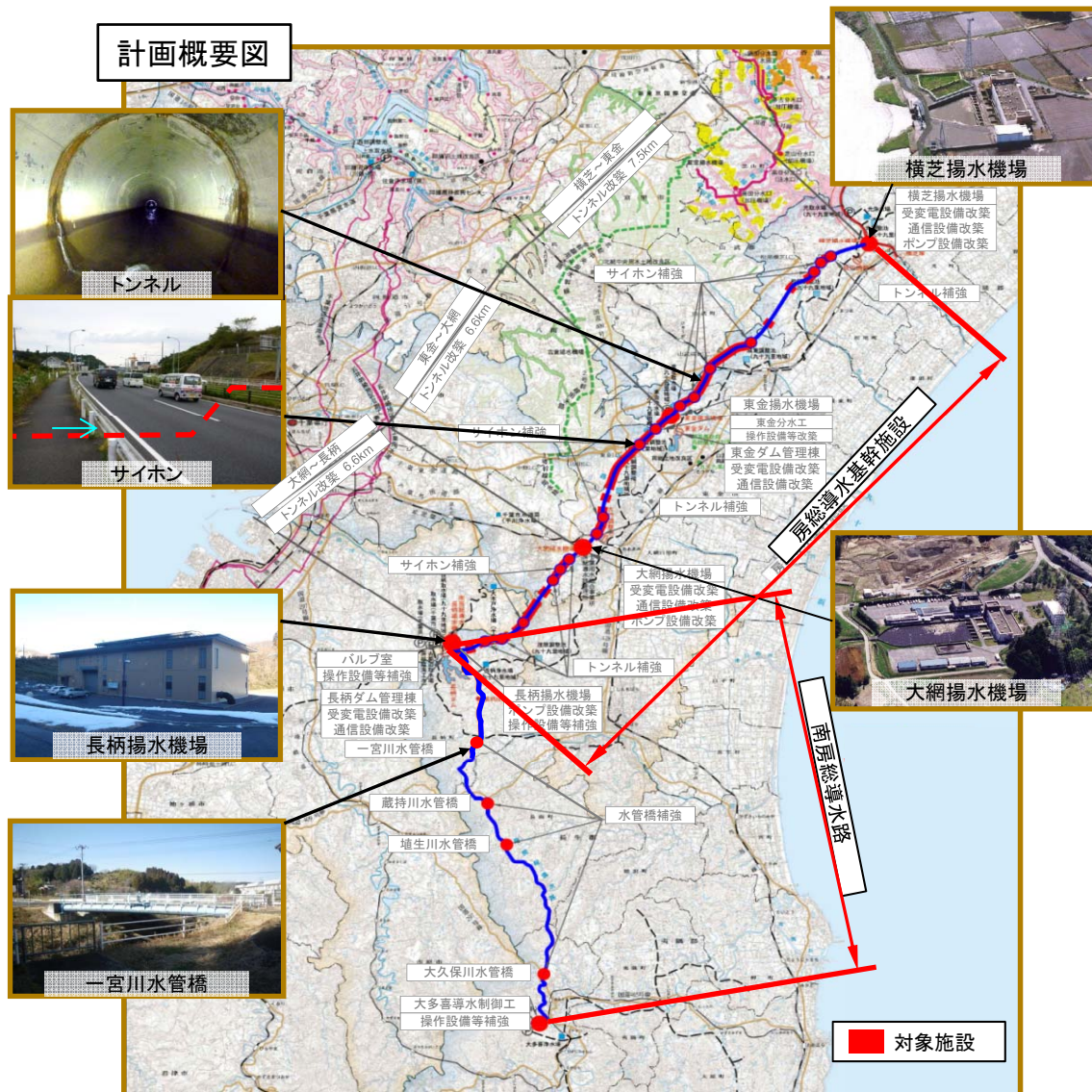
昭和46年5月	房総導水路建設事業	開始
昭和52年7月	水道用水	暫定通水開始
昭和61年4月	工業用水	暫定通水開始
平成17年3月	房総導水路建設事業	完了



房総導水路縦断図

④-2 房総導水路施設緊急改築事業 — 事業の概要 —

○この事業は、千葉県の水道用水及び工業用水を供給する房総導水路施設について、老朽化等により低下した施設の機能を回復するとともに、大規模地震に対する耐震性能を確保するために、同施設の緊急的な改築を行うものである。



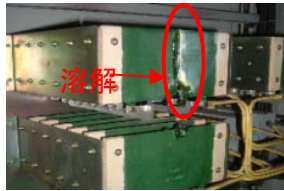
事業の概要

- 事業主体：
独立行政法人水資源機構
- 場 所：
千葉県山武郡横芝光町外6市3町
- 予定工期：
平成26年度から平成32年度
- 最大取水量：約17m³/s
- 工事概要：
房総導水基幹施設 1式
(受変電設備、ポンプ設備改築、
トンネル、サイホン耐震補強等)
南房総導水路 1式
(ポンプ設備改築、水管橋耐震補強等)

④-3 房総導水路施設緊急改築事業 — 事業の概要 —

施設の状態(老朽化)

- 房総導水路は、施設設置後35年以上が経過している。これまで、定期的な保守点検、分解整備等を行ってきたが、経年劣化に伴う不具合が多発してきている。電気設備は、交換部品が既に製造中止になり入手不可能で、代替部品で対応する場合にも改造が伴うため、緊急の対応ができない状況にあり、ポンプ等の機械設備も壊食等が進み、保守・整備による延命化の限界を迎えている。
- 土木施設についても、トンネル天頂部の空洞化やクラックの発生、コンクリートの中酸化等により、崩壊の危険性を呈している。



劣化により発熱溶解した
ホーロー製抵抗器



ポンプ羽根車の壊食



トンネル覆工コンクリートの
縦断クラック

施設の状態(耐震性)

- 南関東地域における大規模地震の発生(今後30年以内にM7クラスの大地震が発生する確率は「70%程度」)が危惧されているなか、房総導水路施設は震度6強の範囲に位置している。
- このような状況を踏まえ、房総導水路の耐震性能照査を実施したところ、当該事業の対象施設であるトンネル、サイホン、水管橋等において、大規模地震による崩壊、可とう継手の損壊等が発生する結果が出るなど、レベル2地震動に対する耐震性能が十分でないことが判明した。



予防対策用震度分布図

出典：中央防災会議首都直下耐震対策専門調査会資料

施設の重要性

- 房総導水路は千葉県内の産業・生活基盤(現在は約57万人に水道用水、68事業体に工業用水を供給)を支える重要なライフライン施設である。
- 房総導水路の揚水機場施設が老朽化で損壊し、また、大規模地震により導水路施設が被災し、取水・導水が不可能となった場合、その復旧に長期間を要し、長期間にわたる減断水によって千葉県内の産業・生活基盤に多大な被害を与えることが想定される。
- また、導水路施設上部には、JR線、災害時緊急輸送道路等が位置している箇所があり、第三者被害も懸念される。

以上のことから、揚水機場等の設備の損壊を未然に防止し、また、大規模地震発生時における被災を最小限とし、千葉県内の産業・生活基盤の発展を支える重要なライフライン機能を確保するため、房総導水路施設の老朽化対策と大規模地震対策の緊急性は極めて高い。

④-4 房総導水路施設緊急改築事業 —主要工事（トンネル・サイホン・水管橋）—

老朽化対策・耐震対策

【施設機能診断調査の結果】

トンネル： 天頂部背面の空洞や覆工コンクリート表面のクラックの発生等

トンネル地表部の崩落により、横断道路、JR線等への二次災害のおそれがある。

【耐震性能照査の結果】

トンネル： 曲げ引張によるひび割れ

サイホン： 可とう管許容変位量不足

水管橋： 支承部移動量不足、伸縮管許容変位量不足等

被災により、水路からの出水や地表部の崩落が発生し、横断道路、JR線等への二次災害のおそれがある。

また、復旧に時間を要し用水供給に影響が生じるおそれがある。

【対応】

（トンネル）

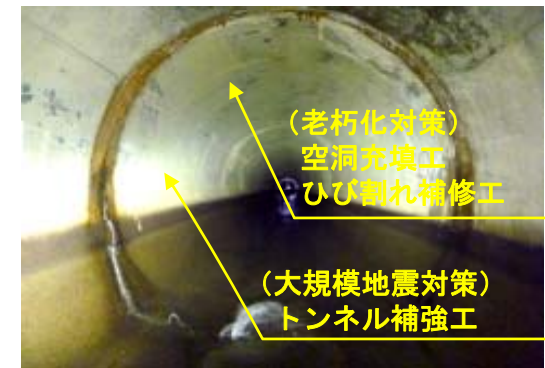
トンネル背面空洞の充填や、構造的に問題となるひび割れの補修を行う。また、大規模地震に対して事前の対策が必要な箇所については、トンネルの補強を行い、従来の機能を維持しつつ、耐震性能を確保する。

（サイホン）

既設の伸縮可とう管を、大規模地震により想定される変位量に対応可能な伸縮可とう管に取り替える。

（水管橋）

落橋防止装置の設置等を行う。



トンネル



サイホン



水管橋

老朽化対策

【施設機能診断調査の結果】

- ^{よこしば}横芝揚水機場： 受変電設備変圧器内の劣化・変質による絶縁不良、ポンプ羽根車の壊食、速度制御装置の焼損 等
- ^{おおあみ}大網揚水機場： 受変電設備変圧器内の劣化・変質による絶縁不良、速度制御装置の焼損 等
- ^{ながら}長柄揚水機場： 速度制御装置液体抵抗器における冷却器の閉塞、電極への酸化物付着による不具合発生 等

各揚水機場は、房総導水基幹施設への汲み上げから長柄ダム、南房総導水路へ送水し、千葉県工業用水及び水道用水を供給する施設であるが、機器等の故障により長期の送水停止が危惧される。

【対応】

（横芝揚水機場）

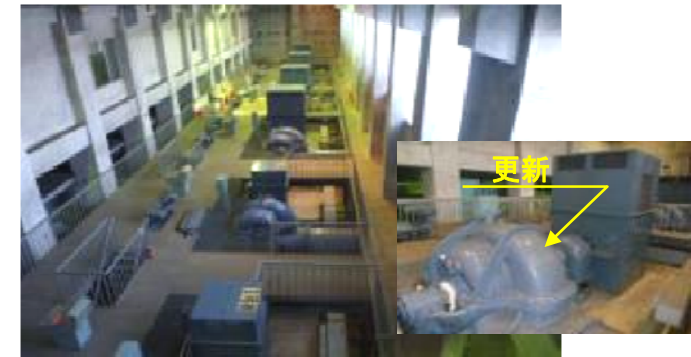
受変電設備更新、監視制御装置更新、ポンプ設備更新、駆動設備更新

（大網揚水機場）

受変電設備更新、監視制御装置更新、駆動設備更新

（長柄揚水機場）

駆動設備更新



横芝揚水機場ポンプ設備



大網揚水機場ポンプ速度制御装置



長柄揚水機場ポンプ速度制御装置（液体抵抗器）

⑤-1 ハツ場ダム建設事業の工期の変更について

○本事業の工期について、「昭和42年度から平成27年度まで」を「昭和42年度から平成31年度まで」に変更する。

事業の概要及び変更内容

	現行	変更後
事業目的	<p>この事業は、洪水調節及び流水の正常な機能の維持を図るとともに、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県及び東京都の水道用水並びに群馬県及び千葉県の工業用水を確保するものとする。</p> <p>なお、ハツ場ダムは発電の用にも併せ供するものとする。</p> <p>また、水没関係住民の納得を得るよう努めるものとし、その生活の安定と地域の長期的な発展のための計画の樹立を図るものとする。</p>	現行どおり
事業主体	国土交通省	現行どおり
河川名	吾妻川	現行どおり
新規利水容量	約86,000千立方メートル (有効貯水容量約90,000千立方メートル)	現行どおり
予定工期	昭和42年度から平成27年度まで	昭和42から平成31年度まで

事業の経緯

- 昭和42年 実施計画調査着手
- 平成19年 仮排水トンネル着手

- 昭和45年 建設事業着手
- 平成25年 第4回基本計画変更告示
(工期変更(平成27年度→平成31年度)等)

⑤-2 ハツ場ダム建設事業 —事業の概要—

位置図



事業の概要

- 事業主体： 国土交通省
- 場所： 群馬県吾妻郡長野原町
(利根川水系吾妻川)
- 予定工期： 昭和42年度から平成31年度
- 事業目的
この事業は、洪水調節及び流水の正常な機能の維持を図るとともに、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県及び東京都の水道用水並びに群馬県及び千葉県の工業用水を確保するものとする。なお、ハツ場ダムは発電の用にも併せ供するものとする。
また、水没関係住民の納得を得るよう努めるものとし、その生活の安定と地域の長期的な発展のための計画の樹立を図るものとする。
- 施設の諸元：
重力式コンクリートダム
高さ116m
総貯水容量 1億750万 m^3

⑤-3 ハツ場ダム建設事業 ー工期の変更・事業の進捗状況ー

事業工期延伸が必要になった要因

工程を精査した結果、工期を平成31年度に変更。

【参考】事業の進捗状況



付替国道145号
(平成23年12月に全線供用開始)



付替県道川原畑大戸線(湖面1号橋)
(平成26年秋に供用開始予定)



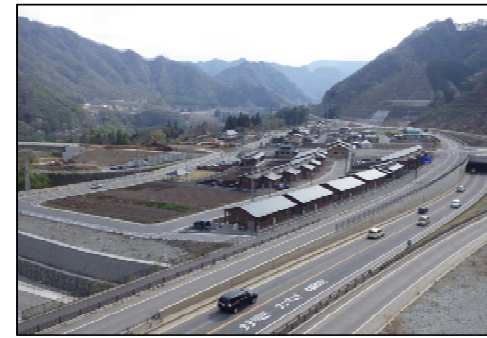
付替鉄道 (JR吾妻線,川原湯温泉駅(新駅))
(平成26年10月1日より営業開始予定)



代替地関連
(王湯会館)



代替地関連
(道の駅「ハツ場ふるさと館」)



代替地関連
(滞在型市民農園「クラインガルテンやんば」)

⑥-1 北総中央用水土地改良事業 - 工期の変更 -

○本事業の工期について、「昭和61年度から平成25年度まで」を「昭和61年度から平成28年度まで」に変更する。

事業の概要及び変更内容

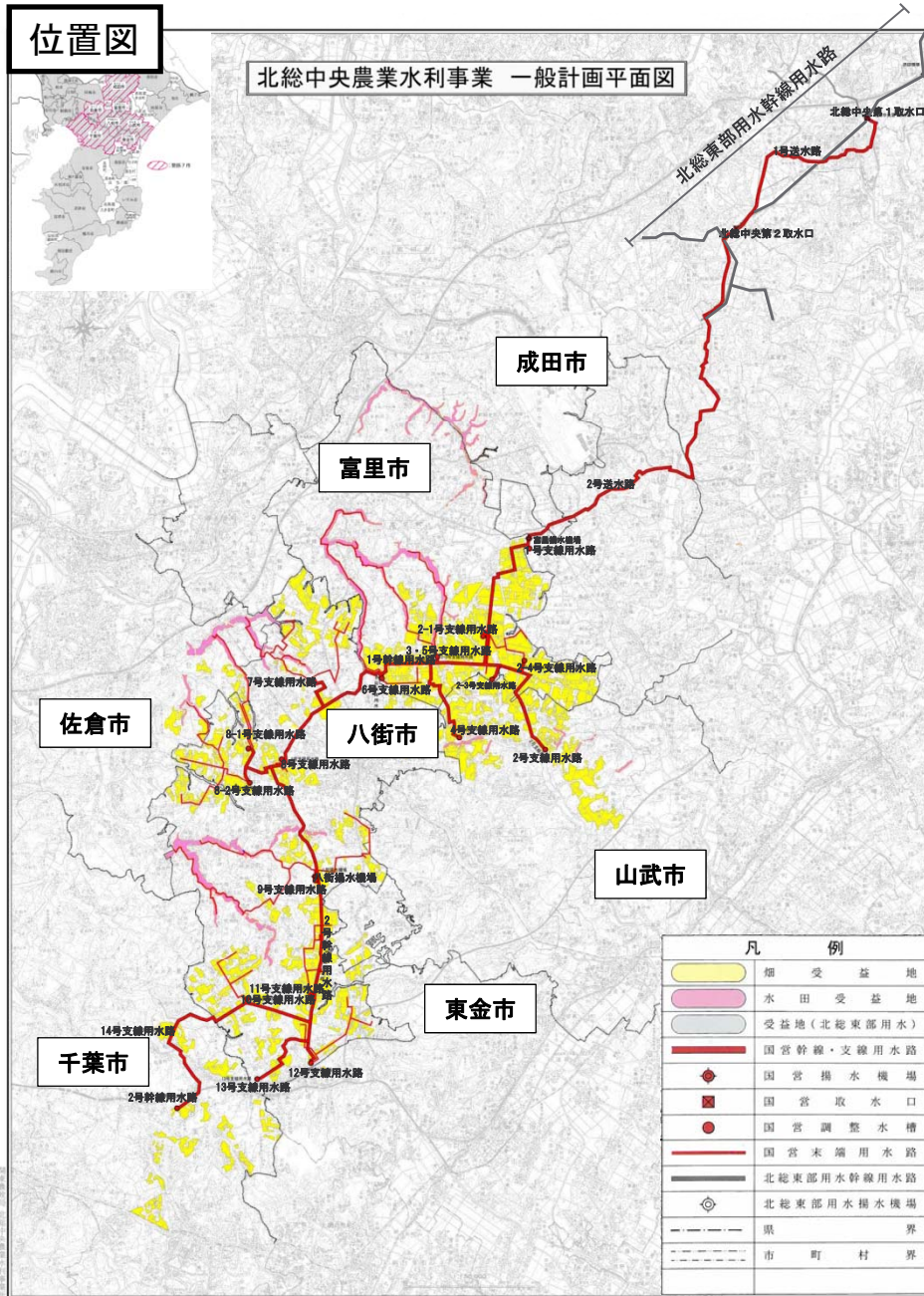
	現行	変更後
事業目的	この事業は、既存の北総東部用水事業の施設を使用するとともに新たな水路等を建設することにより、北総東部用水事業で確保した農業用水の一部をもって、千葉県北部の農地に対し必要な農業用水の補給を行うものとする。	現行どおり
事業主体	農林水産省	現行どおり
河川名	利根川	現行どおり
最大導水量	毎秒約2.3立方メートル	現行どおり
予定工期	昭和61年度から平成25年度まで	昭和61年度から平成28年度まで

事業の経緯

- 昭和60年度 国営土地改良事業地区調査完了
- 昭和61年度 全体実施設計着手
- 昭和62年度 全体実施設計完了

- 昭和63年2月 水資源開発基本計画(利根川・荒川水系)の全部変更でフルプランに事業を掲上
- 昭和63年度 事業着手
- 平成18年度 事業計画変更

⑥-2 北総中央用水土地改良事業 —事業の概要—



事業の概要

- 事業主体：農林水産省
- 場 所：千葉県千葉市ほか6市
- 予定工期：昭和61年度から平成28年度
- 事業目的：

本事業は、利根川河口堰及び霞ヶ浦開発を水源とする水資源機構北総東部用水事業幹線用水路から、地区内に導・配水する用水管を新設し、併せて関連事業で末端用水路を整備し農業用水を安定的に補給することにより、農業経営の安定を図るものである。
- 施設の諸元：
 - (1)取水口 2箇所
 - (2)揚水機場 2箇所
 - (3)用水路 147.1km
送水路：22.4km、幹線用水路：26.6km
支線用水路19.8km、末端用水路：78.3km
 - (4)調整水槽 19箇所

⑥-3 北総中央用水土地改良事業 -工期の変更-

事業工期延伸が必要になった要因

工事期間の延伸が必要となった主な要因として、調整水槽は大規模な構造による立地条件の制約から、用地確保などの諸調整に時間を要したため予定工期である平成25年度を超えることとなった。現在、19ある調整水槽のうち未着手は1箇所であるが、平成25年度より実施設計に着手し計画的に調整水槽や付随する支線用水路及び末端用水路の整備等を含め、平成28年度に完了する見込みである。



以上より、北総中央用水農業水利事業の予定工期を現行の「昭和61年度から平成25年度まで」を、「昭和61年度から平成28年度まで」に3年間延伸する。

参考：調整水槽の建設位置については高さが20mを超えるものもあり、隣接する土地所有者や近隣住民への十分な説明を行い、了解を得る必要がある



店舗側に建設し、宅地、農地への日影の影響を回避した事例



林地に建設し日影の影響を回避した事例

⑥-4 北総中央用水土地改良事業 —事業の進捗状況—

主要施設の整備状況

①パイプライン施工状況(塩ビ管 φ300)



②調整水槽とさといもへのかん水状況



③ネギへのかん水状況



④にんじん播種時のかん水状況

